

熊 本 大 学 眼 科 専 門 研 修 プ ロ グ ラ ム

① プログラムの概要・特徴

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。

熊本大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

1. 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
2. 一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
3. 診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

本プログラムでは、専門研修基幹施設である熊本大学病院と計 12 の専門研修連携施設において、それぞれの特徴を活かした眼科研修を行い、眼科専門医習得のため日本眼科学会が定めた研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験します。

② 研修の目標

専攻医は熊本大学眼科研修プログラムによる専門研修により、専門知識、専門技能、学問的姿勢、医師としての倫理性、社会性を身につけることを目標とします。

i 専門知識

医師としての基本姿勢・態度、眼科 6 領域、他科との連携に関する専門知識を習得します。

眼科 6 領域には、1) 角結膜、2) 緑内障、3) 白内障、4) 網膜硝子体・ぶどう膜、5) 屈折矯正・弱視・斜視、6) 神経眼科・眼窩・眼付属器が含まれます。

ii 専門技能

- 1) 診察：患者心理を理解しつつ問診を行い、所見を評価し、問題点を医学的見地から確実に把握できる技能を身につけます。
- 2) 検査：診断、治療に必要な検査を実施し、所見が評価できる技能を持ちます。
- 3) 診断：診察、検査を通じて、鑑別を念頭におきながら治療計画を立てる技能を持ちます。
- 4) 処置：眼科領域の基本的な処置を行える技能を持ちます。
- 5) 手術：外眼手術、白内障手術など、基本的な手術を術者として行える技能を持ちます。
- 6) 手術管理など：緑内障手術、網膜硝子体手術の助手を務め、術後管理を行い合併症に対処する技能を持ちます。
- 7) 疾患の治療・管理：視覚に障害がある人へ、ロービジョンケアを行う技能を持ちます。

iii 学問的姿勢

- 1) 医学、医療の進歩に対応して、常に自己学習し、新しい知識の修得に努めます。
- 2) 将来の医療のため基礎・臨床研究にも積極的に関わり、リサーチマインドを涵養します。

3) 常に自分自身の診療内容をチェックし、関連する基礎医学・臨床医学情報を探索し、Evidence-Based Medicine (EBM)を実践できるように努めます。

4) 学会・研究会などに積極的に参加し、研究発表を行い、論文を執筆します。

iv 医師としての倫理性、社会性

1) 患者への接し方に配慮し、患者や医療関係者とのコミュニケーション能力を磨きます。

2) 誠実に、自律的に医師としての責務を果たし、周囲から信頼されるように努めます。

3) 診療記録の適確な記載ができるようにします。

4) 医の倫理、医療安全等に配慮し、患者中心の医療を実践できるようにします。

5) 臨床から学ぶことを通して基礎医学・臨床医学の知識や技術を修得します。

6) チーム医療の一員としての実践と後進を指導する能力を修得します。

③ 研修の方略

4年間の研修期間中、少なくとも最初の1年は専門研修基幹施設である熊本大学病院眼科にて研修します。熊本大学病院では、症例数が豊富で救急疾患も多く、また希少疾患や難症例も経験し、内眼手術の件数や指導医も多いのでこの期間に診察技術、手術手技の基本を習得します。2年目以降は眼科医師が複数在籍する専門研修連携病院あるいは熊本大学病院で研修を行います。専門研修連携病院は症例数が豊富で、やや高度な手術を含むより多くの手術を経験することが可能になります。救急疾患も多く扱います。専門研修連携病院あるいは熊本大学病院における研修では眼科のより専門領域に特化した研修が可能となります。3年目以降は熊本大学大学院に進学し、診療や研修を行いながら臨床研究、基礎研究を行う事も可能です。また、一人医長としてより地域に密着した医療を経験する事もできます。ここで研修する専攻医は熊本大学病院の指導医と密に連絡を取り、診療の相談、カンファレンスへの参加を随時行います。専攻医の希望になるべく沿ったプログラムを構築しますが、いずれのコースを選んでも最終的に研修到達目標に達することができるようにローテーションを調整します。また、専攻医間で格差がつかないような工夫もします。

④ 研修の評価

- ・ 研修の評価については、プログラム統括責任者、指導管理責任者（専門研修連携施設）、専門研修指導医、専攻医、研修プログラム委員会が行います。
- ・ 専攻医は専門研修指導医および研修プログラムの評価を行います。
- ・ 専門研修指導医は専攻医の実績を研修到達目標にてらして評価します。
- ・ 専門研修プログラム管理委員会（プログラム統括責任者、指導管理責任者、その他）で内部評価を行います。